



【学習目標】

- 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的についたり表したりすることができるようにする。
- 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

教科書 「ずがこうさく 1・2 下」 (日本文教出版)

持ち物

教科書	クレパス	絵の具セット	のり
はさみ	クーピー	ねんど	ねんど板
筆箱	下敷き	タブレット	

※その他必要なものについては、その都度連絡させていただきます。

【学習の約束】

- 色や形などを見つけたり、工夫したりして楽しく取り組みましょう。
- 道具や用具の使い方を知り、安全に使いましょう。
- 自分や友だちの作品のいいところを見つけましょう。
- 道具の使い方や片付けのルールを守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前期	後期
<p>○にぎにぎねん土</p> <p>○ひかりのプレゼント</p> <p>○おしゃれなくじゃく</p> <p>○ふしぎなたまご</p> <p>○わっかでへんしん</p> <p>○どんなうごきに 見えるかな</p> <p>○わっかでへんしん</p>	<p>○ともだちハウス</p> <p>○はさみのあーと</p> <p>○音づくりフレンズ</p> <p>○おもいでをかたちに</p> <p>○おはなしから うまれたよ</p> <p>○まどをあけたら</p> <p>○だんボールに入ってみると!?</p> <p>○であって生まれる いろのせかい</p> <p>○つないで つるして</p> <p>○とびだせびよーん</p> <p>○たのしくうつして</p> <p>○草花のおしゃべり</p> <p>※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える場合があります。</p>

【評価の観点および場面・方法】

	評価の観点	評価の場面・方法
技能・知識	絵や工作などで自分の表したいものをつくる。	授業の様子(作品作り・発言・発表) 作品(絵・立体・工作・造形遊び)
断念・思考・表現・判断	豊かな発想をし、表し方を工夫する。 作品のよさやおもしろさに気づく。	授業の様子(作品作り・発言・発表) 作品(絵・立体・工作・造形遊び) ふり返し 授業の様子(作品作り・発言・発表) 鑑賞の様子 ワークシート ふり返し
主体的に取り組む態度	主体的に図画工作の学習に取り組む。	授業の様子(作品作り・発言・発表) ワークシート ふり返し